

第37回

全国公民館研究集会in鳥取

第38回中国・四国地区公民館研究集会鳥取大会



「未来を拓く公民館力」

～人が輝き 地域がきらめく～

山陰海岸国立公園 鳥取砂丘

平成 27 年 10 月 15 日(木)～16 日(金)

主会場 とりぎん文化会館 梨花ホール
(鳥取市尚徳町 101-5)

分科会 鳥取市内 5 分科会 5 会場



鳥取県マスコットキャラクター
「トリピー」

【お問い合わせ先】

第 37 回全国公民館研究集会 in 鳥取実行委員会事務局
鳥取県公民館連合会

〒 680-8571 鳥取県鳥取市尚徳町 116 (鳥取市役所協働推進課内)

TEL 0857-20-3172 FAX 0857-21-1594

第37回 全国公民館研究集会in鳥取

第38回中国・四国地区公民館研究集会鳥取大会

大会趣旨

公民館は、戦後、自治活動の拠点として制度化され、地域住民が身近につどい、学び、活動する場として社会教育の振興に寄与し、人づくり・地域づくり等に大きな役割を果たしてきました。

しかしながら、わが国は少子高齢化・高度情報化・生活様式や価値観の多様化・地域社会における人間関係や連帯感の希薄化等々、私たちを取り巻く環境は、急速に大きく変化してきており、地域コミュニティの再生が課題となっています。

このような社会情勢の中、地域活動の拠点としての公民館が見直されるようになってきました。公民館は地域住民がつどい、多くの人とつながり、地域社会と関わっていきこうとする機運を、今まで以上に高めるよう努めなければなりません。

また、社会がどのように変わろうとも変えてはならないもの、忘れてはならないことも沢山あるはずで。

そこで、社会の急激な変化への対応と、変えてはならないことの二つを念頭に、公民館の機能と果たすべき役割を新たな視点に立って再認識し、公民館力を高めることも重要であると考えます。

日本一の広大な鳥取砂丘をいただき、歴史かおる城下町、鳥取。この鳥取に、全国の公民館関係者がつどい、実践活動の紹介や研究協議を通して共に学び合うことで『未来を拓く公民館力』をさらに高め、より一層の充実・発展を目指して本大会を開催します。



国宝 三徳山投入堂



大山隠岐国立公園 大山

プログラム

第1日 全体会

10月15日(木) 午後 とりぎん文化会館

- オープニングアトラクション
- 記念講演

講師 里中 満智子 氏 (予定)

マンガ家・平成24年度国際マンガサミット鳥取大会実行委員

- パネルディスカッション

パネリスト 文部科学省 全国公民館連合会 公民館代表

第2日 分科会

10月16日(金) 午前 鳥取市内5会場

分科会名

研究テーマ

1 今求められる公民館	時代に即応する公民館の創造
2 家庭・学校・地域の連携と公民館	青少年育成や地域の教育力を高めるための連携
3 高齢者の生きがいづくりと公民館	高齢者の生きがいづくりの創造
4 人権尊重の地域づくりと公民館	人権尊重の地域づくりの推進
5 協働のまちづくりと公民館	地域力を高めるための活動



鳥取市の花「らっきょうの花」